

平成 21 年 10 月吉日

拝啓、保護者(家族)会長様

全国知的障害者施設家族会連合会 (全施連)
会長 由岐 透

私どもは24の加盟県連と5府県の賛助会員で構成する知的障害者施設の保護者会の全国組織です。会員数は約5万家族です。平成17年に組織を立上げ、以来「障害者自立支援法の廃止」を求めて、(財)日本知的障害者福祉協会等の障害者団体と連携して活動を続けてきました。

「障害者自立支援法の廃止」は私たちの運動が勝ち取った成果です。

しかし、すぐに廃止はできません。まだ3年ぐらいは続くと言われます。なぜなら、民主党は内閣に「障がい者制度推進本部」を新設し、障害者団体の声を聞いて「障がい者総合福祉法」の詳細な法体系の整備を進める方針です。そのために3年は要するとの見方です。

民主党の新法(障がい者総合福祉法)に私たちの声を反映させましょう!!

全施連は民主党の障がい者政策P Tに、私たちの声を強く訴えます。
貴会の皆様も私たちと一緒に運動しませんか。障がいを持つ子どものために。

もう二度と障害者自立支援法のような悪法を作らせてはいけない

この法律の条文(115条)をいくら読んでも、その恐ろしい実態はわかりません。具体的な中味はほとんど省令(役人が都合の良いように作り、国会の審議を必要としないもの)で決められ、且つそれが私たちの目に触れない箇所に記されているからです。

こんな悪法を作らせないためにはこの法律の構造を知らなければなりません。

全施連はこの悪法の問題点を省令レベルまで調査し、えぐり出しました。
こんな悪法を作らせないために、是非お読みください。

知的障害を持つ人の親たちが不安点を徹底的に調べ、
自らペンを執り書いた冊子

『障害者自立支援法 親の不安は、これだ。』

(A4版 53ページ 500円)

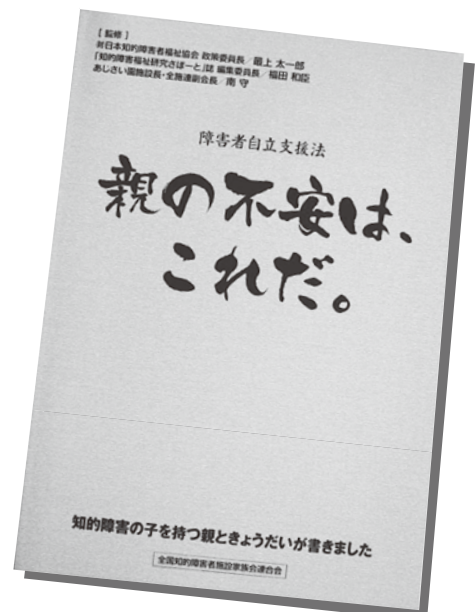
【監修】

(財)日本知的障害者福祉協会政策委員長 最上 太一郎

(財)日本知的障害者福祉協会機関紙サポート編集委員長

福田 和臣

全施連会副会長・あじさい園(高知)施設長 南 守



障害者自立支援法の正体を知って、障害者が幸せになる法律を作りましょう!!